

【報告】令和 2 年度活動報告（中間報告）について

1 居住支援サービス充実に向けた支援

<p>(計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊島区居住支援協議会のネットワークを活用し、関係団体等の顔繋ぎや、居住支援法人登録へのサポートを行い、新たに区内で居住支援活動を行う団体の円滑な活動支援を行う。 区が協定を締結する居住支援法人が提供するサービスの普及に向け、区や不動産団体との連携を図る。 	<p>(主な成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> CSW による相談会に参加し、社協が実施する地域相談支援の課題共有と、居住支援における CSW との連携の可能性について意見交換会を実施 日時：9月17日（木） 場所：みんなのえんがわ コミュニティネットワーク協会「共生ハウス西池袋内見会」の視察と意見交換を実施。 …登録団体に認定される前から情報交換をしているコミュニティネットワーク協会の共生ハウス西池袋（豊島区におけるセーフティネット（専用住宅）の共同居住型住宅第1号）の取組、告知方法等情報交換 日時：6月19日（金） 場所：共生ハウス西池袋（西池袋3-12-17）
--	---

2 としま居住支援バンクの運営

<p>(計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> としま居住支援バンクを継続して運営しながら、住宅セーフティネット制度の普及と、としま居住支援バンクの登録促進のため、不動産店への周知活動を行う。（パンフレットや啓発グッズの活用をはかる） 国のセーフティネット住宅制度の創設されたことに伴い、今後のとしま居住支援バンクの在り方について検討を行う。 	<p>(主な成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> パンフレット等を活用して、としま居住支援バンク登録住宅のオーナー（4件）に情報提供。 物件登録を促進するためリーフレットの更新 啓発グッズの制作を実施。 ※「3 普及啓発活動の推進」を参照 「4. 空き家・空き室に関する研究」と連携をはかり、全日本不動産協会豊島文京支部、東京都宅地建物取引業協会豊島区支部2団体へ豊島居住支援バンクとセーフティネット住宅の登録についての周知活動を実施。 居住支援バンク登録件数（11戸） うち新規登録（1戸） ※入居募集中は7戸 SN住宅登録件数（526戸）※R3.2月末時点 ※新たに登録団体となったNPOが運営する専用住宅4戸が新規に登録された。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で不動産店への訪問を思うように進めることができなかった。（1団体へ実施し、結果新規登録1件） としま居住支援バンクへの登録が、実際の入居につながっているかが把握できず、登録してくれた不動産店との連携に課題あり。 不動産店が登録しやすく、活用いただける仕組みが求められる。
--	---

3 普及啓発活動の推進

<p>(計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国や都の制度拡充に合わせてチラシのリニューアルやグッズの作成を行う。区の住宅施策、福祉施策についても広く周知を行い、住宅確保要配慮者の居住の安定を図る。 不動産団体、区の住宅部局や福祉部局と、区内の居住支援の課題の共有を図るための意見交換会の実施を検討する。 不動産団体、区の住宅部局、福祉部局との意見交換会開催の検討 	<p>(主な成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 啓発グッズの作成（グッズ2種、マスクケース1,000枚 マスク3,000枚） 居住支援に係る制度の更新に合わせて、リーフレットを一部更新・発行 (リーフレット更新内容) …R2年度に新たに認定された登録団体（3団体）の紹介文更新と最新版住宅支援制度の更新。 ホームページ、SNS（フェイスブック、YouTube等）による情報発信。 空き室オーナー向けセミナー「空き家、空き室を活かしてアナタも社会貢献を！」を開催。 日時：令和2年11月17日（火） 会場：としま産業振興プラザ多目的ホール（IKE・BIZ） 参加者：18名 プログラム： 1）居住支援協議会&居住支援バンクについて 2）新規登録3団体（コミュニティネットワーク協会、包括あんしん協会、企業組合労協センター事業団による講演 3）個別相談会 社会貢献活動WEB見本市へ参加（8月、2月）。取組の紹介をする。 ※8月：日本自動ドアフェアトレード賞を受賞。 保険福祉部福祉総務課、日本女子大学定行研究室との情報交換会を実施 日時：令和2年8月4日（火） <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 不動産店やオーナーが関心を持つメディアでの広報と同時に、継続的に住宅部局と福祉部局との連携・情報共有する必要がある。（住まい相談のあり方の検討）
---	---

4 空き家・空き室に関する研究（日本女子大学 定行研究室委託契約）

<p>(計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> 区内の特定の地域にフォーカスを当て、空き家の実態について継続的に調査を実施し、空き家となっている要因や課題を分析するとともに、空き家活用の可能性や解決方法を探る。 <p>(変更計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全日本不動産協会豊島文京支部、東京都宅地建物取引業協会豊島区支部に協力い 	<p>(主な成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 定行研究室、全日本不動産協会豊島文京支部、東京都宅地建物取引業協会豊島区支部と調査方法、調査項目を検討し、アンケート調査を実施。 期間：令和3年2月5日（金）～28日（日） 調査対象：約1300件 回答数：41件 (3月2日時点) <p>※詳細は、定行研究室の取組報告参照。</p>
--	---

<p>ただき、自社および管理物件に関して賃貸状況の空き家の実態を把握し、空き家バンクへの登録ならびに居住支援に貢献可能な不動産店の把握につなげる調査を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査を実施した上で、必要に応じてヒアリングを実施し、住まいを探している高齢者、障害者等の住宅確保要配慮者、またひとり親世帯（区内のNPO法人等の支援を受けている世帯）や区内の母子生活支援施設の母子世帯に対して、住まいを確保できるようマッチングを図る。 	<p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> バンク登録や居住者のマッチング等の実現まで至っていない。 コロナ禍で不動産店への訪問を思うように進めることができなかった 豊島区全体の把握のため、全日本不動産協会豊島文京支部、東京都宅地建物取引業協会豊島区支部に所属しない不動産店への調査が必要。
--	---

5 居住支援団体の登録制度

<p>(計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「としま居住支援バンク」に登録された空き家を活用し、入居者に居住支援活動を行う団体の登録制度を運営する。 豊島区内を活動地域としている居住支援法人との情報交換、団体への登録促進のため、交流会を開催する。 <p>[豊島区居住支援協議会登録団体]</p> <table border="1" data-bbox="204 1070 778 1756"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>団体概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クローバー</td> <td>知的障害の人が親亡き後も、住み慣れた地域で生活していけるように支援</td> </tr> <tr> <td>豊島子どもWAKUWAKU ネットワーク</td> <td>子どもの貧困をテーマに地域の子どもの地域で見守り育てる活動を展開</td> </tr> <tr> <td>リトルワンズ</td> <td>ひとり親世帯の生活支援</td> </tr> <tr> <td>街ごとリノベ開発機構</td> <td>住宅医のインスペクションで、高齢者でも可能な仕組みで空き家の再生を加速化していく</td> </tr> <tr> <td>コレクティブハウジング社</td> <td>コレクティブハウスを使った地域とつながりをもちながら暮らしたい人のための居住支援活動</td> </tr> <tr> <td>コミュニティランドスケープ</td> <td>高齢者の地域社会への参加を促し、地域の繋がりを作るとともに、高齢者の自立を促すため活動している</td> </tr> <tr> <td>コミュニティネットワーク協会(新規)</td> <td>暮らしと住まいの情報提供と相談、共生ハウス池袋(SN住宅)を運営</td> </tr> <tr> <td>包括あんしん協会(新規)</td> <td>安否確認から死後手続きの支援</td> </tr> <tr> <td>企業組合労協センター事業団(新規)</td> <td>住まいと暮らしを支える支援</td> </tr> </tbody> </table>	名称	団体概要	クローバー	知的障害の人が親亡き後も、住み慣れた地域で生活していけるように支援	豊島子どもWAKUWAKU ネットワーク	子どもの貧困をテーマに地域の子どもの地域で見守り育てる活動を展開	リトルワンズ	ひとり親世帯の生活支援	街ごとリノベ開発機構	住宅医のインスペクションで、高齢者でも可能な仕組みで空き家の再生を加速化していく	コレクティブハウジング社	コレクティブハウスを使った地域とつながりをもちながら暮らしたい人のための居住支援活動	コミュニティランドスケープ	高齢者の地域社会への参加を促し、地域の繋がりを作るとともに、高齢者の自立を促すため活動している	コミュニティネットワーク協会(新規)	暮らしと住まいの情報提供と相談、共生ハウス池袋(SN住宅)を運営	包括あんしん協会(新規)	安否確認から死後手続きの支援	企業組合労協センター事業団(新規)	住まいと暮らしを支える支援	<p>(主な成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規登録団体 3 団体（11 月臨時総会（電子メール開催）で承認）（居住支援法人 3 団体） 交流会の実施 …交流会を機に登録団体間での居住支援関連の講演会等、連携が進んでいる。 <p>日時：令和2年10月7日(水)18:00～19:30 場所：養老乃瀧 YR イベントホール プログラム： 1) 団体活動紹介 2) 居住支援協議会の説明 3) 意見交換</p> <p>【参加団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> コレクティブハウジング社 コミュニティネットワーク協会 企業組合労協センター事業団（ワーカーズコープ） 包括あんしん協会 日本女子大学定行研究室 <p>【オブザーバー】</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊島区民社会福祉協議会 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録団体の取組や協働企画についての実績を把握しきれないことがある。
名称	団体概要																				
クローバー	知的障害の人が親亡き後も、住み慣れた地域で生活していけるように支援																				
豊島子どもWAKUWAKU ネットワーク	子どもの貧困をテーマに地域の子どもの地域で見守り育てる活動を展開																				
リトルワンズ	ひとり親世帯の生活支援																				
街ごとリノベ開発機構	住宅医のインスペクションで、高齢者でも可能な仕組みで空き家の再生を加速化していく																				
コレクティブハウジング社	コレクティブハウスを使った地域とつながりをもちながら暮らしたい人のための居住支援活動																				
コミュニティランドスケープ	高齢者の地域社会への参加を促し、地域の繋がりを作るとともに、高齢者の自立を促すため活動している																				
コミュニティネットワーク協会(新規)	暮らしと住まいの情報提供と相談、共生ハウス池袋(SN住宅)を運営																				
包括あんしん協会(新規)	安否確認から死後手続きの支援																				
企業組合労協センター事業団(新規)	住まいと暮らしを支える支援																				

6 家賃助成の実施

<p>(計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> 居住支援協議会が関与した居住支援事業の入居者に対して家賃助成を実施する。 新規受付は廃止する。 	<p>(主な成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 居住支援バンクを通して入居中の1世帯に対して家賃助成を行った。(月1万5千円)
--	---

※その他、事務局会議（月1回）の実施。

[年間実績表]

取組み内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会議		総会 ※●						臨時総会 ※●				臨時総会 ※●
事務局会議	●		●	●	●		●	●	●	●	●	
1 居住支援サービス 充実に向けた支援	← CSWとの意見交換会 →											
2 としま居住支援バ ンクの運営	← →											
3 普及啓発活動の推 進	← ユーチューブ、フェイスブック、ホームページ更新（随時） →											
					見本市 出展 ●			オーナー向セ ミナー ●	リーフレットの 更新		啓発グッ ズの作成	見本市 出展 ●
4 空き家・空き室に 関する研究	← 区内の賃貸物件の空き家および居住支援に関する調査 →											
5 居住支援団体の登 録制度	← 登録受付 →											
							交流会 ●					
6 家賃助成の実施	← 家賃助成（1戸） →											

※総会・臨時総会（11月）はコロナウイルスの影響のため、電子メール開催とした。

[次年度に向けた課題の整理]

(1) 居住支援サービス

(相談窓口の仕組みの課題)

- ・居住支援協議会の各登録団体についても住まいや居住支援に関する相談業務を行っている団体があるが、団体ごとの対応となっているため、その団体の専門分野内での相談に限られてしまい、総合的な相談支援ができていないことがある。情報共有や連携のあり方を検討する必要がある。
- ・現在、住まいに関する相談は、住宅課の相談窓口が対応することになっているが、居住支援協議会との連携をより強固にする必要がある。

(2) としま居住支援バンク

(バンク登録促進に向けた課題)

- ・バンク登録物件を増やすために、オーナーへの働きかけと共に不動産業者への働きかけも行っているが、不動産業者の負担軽減や情報共有のあり方に課題がある。特に登録手続きの軽減を望む声があることから、登録までの手続き方法の再検討を第一に取り組む必要がある。

(居住促進のための支援サービスの課題)

- ・住宅確保要配慮者の入居リスクを抑えるため、家賃の金銭的補償や見守りサービスの普及を進めてきたが、依然としてオーナーや地域密着の不動産業者は緊急連絡先の確保等を要望されることも多い。

(3) 事務局体制

- (1)、(2) の課題を解決し事業を推進をするためには、会議体だけではなく、登録団体とともに活動をし、全体をコーディネートする機能が大切である。ワーキングチーム等による事業の推進も検討する必要がある。